

# 戦後日本 デザインの軌跡

## 1953-2005 — 千葉からの挑戦

現在私たちが「日本の美術」と呼ぶもの、とりわけ近世以前に生みだされたものの多くはかつて生活の飾りであり、暮らしを彩る意匠でした。衣服や調度の制作が手技から機械に替わり、その形や色が「デザイン」と呼ばれるようになって、日本人はもの作りに洗練された美意識を発揮し、その仕事ぶりは世界的に高い評価を受けています。

本展は、千葉大学工学部工業意匠学科の出身者たちによるデザインを集めたものです。千葉大学工学部は1921年に創設された東京高等工芸学校を前身とし、その伝統のもと全国的にもきわめて早い時期からデザイン教育に着手、戦後の経済復興期から高度成長期にかけて家電やインテリア、広告など幅広い分野に優れたデザイナーたちを送りだしてきました。展示内容は自動車やカメラ、公共サイン、化粧品パッケージなど約400点。1950年代から現在までの各時代を象徴する、懐かしくも新しいカタチの数々をぜひともご覧ください。

### 開催要項

- 〔会期〕 平成18年4月1日（土）～5月28日（日）
- 〔開館時間〕 10:00～18:00 \*金曜日・土曜日は10:00～20:00 / 入館受付は閉館の30分前まで
- 〔休館日〕 4月3日（月）・5月1日（月）
- 〔観覧料〕 一般 800円（640円）  
高・大学生 560円（450円）  
小・中学生 無料  
\*（ ）内は団体30人以上の料金
- 〔交通案内〕 ◆JR千葉駅東口より徒歩15分 / 千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分 / バスのりば7より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩2分 / JR千葉駅へは東京駅地下ホームから総武線快速千葉方面行で約42分  
◆京成千葉中央駅東口より徒歩約10分  
◆東京方面より車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く  
◆地下駐車場あり
- 〔主催〕 千葉市美術館、読売新聞東京本社、美術館連絡協議会
- 〔後援〕 千葉大学、千葉大学工学部、千葉大学工学同窓会
- 〔助成〕 財団法人地域創造
- 〔協力〕 社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、日本デザイン学会
- 〔協賛〕 花王株式会社、株式会社アイ・デザイン、株式会社イトーキ、株式会社INAX、株式会社エイペクス、株式会社岡村製作所、サーモス株式会社、株式会社ジイケイダイナミックス、積水ライフテック株式会社、ダイハツ工業株式会社、東陶機器株式会社、日機装株式会社、株式会社ノーリツ、三菱自動車工業株式会社、三菱電機株式会社、ヤマハ発動機株式会社、株式会社黎デザイン総合計画研究所、天童木工、KOTOBUKI